

完全発酵飲料「バランスα」をお勧めします。

「バランスα」取扱店

ペットショップ『COCOJoyクラブ』 TEL 0154-39-1139

ホリスティックアニマルケア北海道加盟店

オーナー千葉君子さんのお話

※生体の販売はしていません



看板犬「ジェイ&ルーク」



ココジェイクラブさんの仲間たち

人にも犬にも猫にも鳥にも生きものみんなにおすすめします。

人に良いものは犬にも猫にも良い。これはあたりまえのことです。

人には良くないけど犬猫用というのが一番いけないのです。

★「バランスα」は飲用はもちろん目耳の薬にもOKというか、ぜひ使ってほしいです。大きめの綿棒にバランスαをひたし、見える範囲の耳の中の汚れを拭きとってください。変な耳の薬なんか使えません。ちなみに当店にはお耳のお薬は置いておりません。飲んでよし、耳掃除に絶対よし、目薬にも最適。いつも携帯用小型スプレー容器に入れておいて持ち歩くとイザというときに便利。ケガなどした時にすぐしゅっとスプレー。傷の治りが早い。化膿もしない。個人的には化粧水としても使用しています。洗顔後、目を開けたまましゅっしゅと。

※ ご飯を食べる気力も無く寝たきりになってしまった腎不全・肝不全のワンコが劇的に回復した事実！

※ もうダメとあきらめかけていた16才のネコちゃんがこの「バランスα」をためしに1本、集中的に飲んで1週間。飼い主さんが驚くほどの元気回復！うちの愛犬もこの「バランスα」を毎日ほかのサプリメントと一緒に摂っています。特にユッカインテンシブなどの液体サプリメントを少量の水で薄めて使用するとき、水道水よりはこの「バランスα」を利用するほうが効果倍増！しかも薬ではないので副作用無し。安心です。

※ 基本的にはまず主食を人も犬もきちんと良いものを摂り（だって今食べているもので体はできているのですから）、それからマルチタイプのビタミン・ミネラルのサプリメント、それプラス抗酸化飲料「バランスα」がおすすめです。特にサプリメントの苦手なワンコ・ニャンコにはこの「バランスα」が良いでしょう。



購入する前に「バランスα」の無料サンプルを試したい貴女へ！

ユーザー様のまわりに、「健康」「老化」「美容」でお悩みの方はいらっしゃいませんか？「バランスα」が無料でお試してできることを教えてあげてください。

株式会社高橋剛商会では、「バランスα」のユーザー様からご紹介された方、販売店等のチラシで「バランスα」に興味を持たれた方など、毎月20名様に、「バランスα」のサンプルと資料を無料進呈させていただきます。下記要領で、試されたいご本人様からお申込み頂きますよう、お願いします。

＜「バランスα」無料サンプル申込要領＞

1. 期間/12月1日(金) 午前9時より受け付け開始、定員になり次第締め切り
2. 申込者/試してみたい方ご本人
3. 申込方法/無料フリーダイヤルへ FAX (0120-76-5812)
4. 必要記載内容/ご本人様の氏名・住所・電話番号

*無料サンプルは1人でも多くの方に試して頂くためにお1人様1回限りとさせていただきます。

いきいきライフをがっちりサポート！！

バランスαニュース 第25号

『バランスαニュース』は、ユーザーの皆様と、販売者、メーカーを結ぶ情報交換誌です。



高橋剛商会

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨2-5-12 5F
TEL03-3576-5811 FAX03-3576-5815
フリーダイヤルお客様センター 0120-76-5812



初代イメージガール ココ(4歳)

特集 「ペット」

のが現状です。ペットの健康を真剣に願う人々に「バランスα」を知っていただき、悪質な添加物満載の保存食的ドッグフード、それと『医療』の名の下に投与される副作用の激しい薬物などによって、健康はおろか、その生存すらも脅かされているペットたちを守り、ずっと元気で、もっと長生きして欲しいと願う方々のお役にたつことができればと思いい「ペット」を特集しました。

みなさんご存知のように「バランスα」は、人体の抗酸化力を高め、「自己治療力」を引出すことを目的に開発・利用されている飲料です。しかし、販売当初から、ユーザー様の中から飼われているペットに飲用させ、重篤な病や原因不明の症状が治療あるいは緩和した、という感想が多数寄せられていました。

動物医療は人間医療からはかなり遅れている

※「バランスα」の最大の効果は、体内細胞における活性酸素の除去にあるわけですから、人間だけでなく、細胞をもつすべてに有効なのはもちろんです。当然、植物にも効果があります。犬や猫に効果が顕著に現れるのには、カラダが人間に比べて小さいため、はるかに体中に行き渡る状態が作られやすいと考えられます。



おしらせ

＜食用菊「もってのほか」が見事に咲きそろいました！＞

10月下旬、真室川の遠田さんの菊畑にお邪魔しました。遠田さんの畑は、真室川でも山側に位置し、時々クマも遊びに来るそうです。それで、喧嘩上等の犬を2匹飼っておられます。



ハウスの中は、紫色の「もってのほか」がこれでもかと咲き誇り、あとは、摘み取りを待つばかり。菊の花に、なよとしたイメージを持っていた私は、天にむかって花びらを突き上げる姿に、強い強い野生を感じました。

遠田さんに伺うと、「観賞用の菊を栽培していたときは、もっとずっと穏やかな花で、すぐアブラ虫がつき、その対策に大わらわだったけれど、高橋剛さんのご指導を受け、土にボカシ肥を混ぜて、「もってのほか」を育てるようになったら、無農薬でも虫が全くつかず、菊が荒々しく咲き誇るようになった」そうです。

遠田さんの丹精こめた「もってのほか」は、すべて『バランスα』用として、完全無農薬・無化学肥料で栽培されており、外側の緑色のガクもいっしょに摘み取られ、そのまま玄米等と共に醗酵させます。

＜力強い稲穂が雑草を押しつぶす！＞

「うちの田んぼはすぐにわかる。雑草が所々顔を出しているのがうちのだ」高橋直樹さん(高橋剛氏の長男)に田んぼの場所を伺うと、苦笑いしながら、こう答えてくれました。高橋親子の田んぼの除草は、手作業と機械除草だけですから、雑草を完全に排除することはできません。でも、高橋親子はあまりそれを気にしていません。



「稲の生命力が強ければ、少々の雑草に栄養を取られるようなことにはならない。除草剤は、雑草を枯らすだけでなく、稲の生命力それ自体を萎えさせる。そっちのほうが、稲の出来にはるかに大きな悪影響を及ぼす」。結果は秋のこの実り。雑草を押しつぶさんばかりのたわわな稲穂です！

もともと『バランスα』はペット専用に関係製造したものではありません。販売サイドでもペット用として宣伝したことは一度もありませんでした。

しかしながら【100%自然農法】【天然素材】【完全無添加】にこだわった商品であることの安心感と、その効き目が、専門知識を持ちペットの健康を真剣に考える良心的な獣医師、ペットショップ様、ブリーダー様、ペットを家族の一員と考える飼い主様によって、『バランスα』の輪が全国に広がり続けています。

「バランスα」をペットに利用しているユーザー様からのお便りを紹介させていただきます。



「バランスα」は完全発酵飲料なので、犬が嫌がる味や臭いもなく飲ませやすいです。カロリーが限りなくゼロというのが嬉しいですね。たくさん飲ませてでもカロリー摂りすぎの心配もありません。おかげでスマートな体型と健康を維持することができています。(東京都)

我が家のペット(アルゼンチンポニー)は「バランスα」のボトルを見ただけで寄って来てしまいます。シャンプーの後は必ず「バランスα」をスプレーしてブラッシングしてあげます。皮膚病には一度もかかったことがありません。



我が家ではペットの軍鶏(シャモ)のエサと飲み水に「バランスα」を入れて与えています。毛艶がよくなったように思います。

犬にもアレルギーや癌が多いと聞き、病気予防と健康維持のために毎日多めに飲ませています。

『バランスα』が支持されているのには訳があります・・・

- ◆完全無添加(酸化防止剤・保存料不使用)で副作用無し!!
- ◆自然界で極めて強力な抗酸化力を持っている素材「玄米」「ピワ葉、種」「キク」だけを原材料としている
- ◆化学的な抽出法ではなく、80種類もの有用微生物群を使い長い時間をかけて発酵、熟成している
- ◆「バランスα」のパワーの源である「酵素類」はすべて自然由来のもの

この他にも「お客様の声」や「製造工程」などが弊社ホームページでも御覧頂けます。ホームページアドレス <http://www.balance-alpha.com/jp/>

《ペットの現状》

最近のペットたちには、原因不明の病気や治らない病気が多いと聞きます。アレルギー、ガン、心臓病、糖尿病、肝臓病、腎臓病といった慢性の病を患っているワンちゃん・ネコちゃんがあまりに激増しているようです。薬を処方しても一向によくならない、一旦よくなったようにみえてもまた同じ症状を繰り返す、いろんな病院をたらいまわしにされる、長期間の投薬によって薬漬けになっている、そんなペットたちがたくさんいるそうです。

今や大切なペットまで私たち人間と同じように現代病に侵されています。家族の一員として生活しているペットの健康状態は、私たち家族の健康状態を反映していると言えるでしょう。

《死亡原因の変化》

日本は犬猫の数が2400万匹を超え、15歳以下の子供より多いペット大国になっています。つい15年前にはペットの死亡原因はフィラリア・伝染病・交通事故が上位を占めていました。しかし、医療の進歩によりワクチン接種が普及して感染症が激減した事や、人間とペットが家族同然の深い関係になるにつれてしつけの向上や室内飼育が普及した事などからペットの寿命も大幅に延びています。

このように人生のパートナーとしてペットと暮らす人々が増え続けている一方で、死亡原因は大きく変わり、ペットの生活習慣病が増加の一途を辿っています。現在は、糖尿病、がん、腎臓病など生活習慣病による死因が約70%を占めるまでになっています。

現在の主なペットの死亡原因は以下の通りです。

	1位	2位	3位
犬の死亡原因	ガン(47%)	心臓病(12%)	腎臓病(7%)
猫の死亡原因	ガン(32%)	泌尿器疾患(23%)	心臓病(9%)

動物のための自然治療院 『ナチュラルライフサポート』

TEL 045-805-0692

獣医師 渡辺由香

(日本ホメオパシー医学会獣医認定医)



本院でも腫瘍・アトピー・関節炎などが原因の上位に上ってきています。これらの病気は原因が体内環境にある為、抗生物質などの薬では治す事が出来ません。とても厄介な病気です。この状態をなんとかしたくて、食べ物の見直し、生活スタイルの見直しを本院では試みています。すなわち薬ではなく、安全で質の良いフード、安全な機能性食品の勧めをしています。今一番、人にも動物にも不足しているものは酵素であると思います。特に今のペット達はペットフードという加工食品しか食べていませんから、圧倒的な酵素不足の状態です。酵素は細胞を若々しく保ったり、活性酸素を除去してくれたり、腸内細菌を良くしてくれたりする有難い存在です。「バランスα」には、この有難い酵素がたっぷり入っているため、病気で食欲のない子や薬の副作用が心配な子にとってもいいものです。もちろん健康な子にも少量ずつ与えると、年をとっても病気にかかりにくくなるでしょう。私自身が愛用していることから、家族や我が家の犬猫に飲んでもらい、患者さんの動物にも勧めしています。

これほど多くのペットがガンで死亡しているにもかかわらず、その原因は人間同様に特定されていません。むしろ、ガンは原因をひとつに特定できないもので、小さな因子が多数積み重なったところに芽生えてくる新生物なのです。

現代の環境汚染や私たちの生活スタイルは、ガンが発生するには都合の良いものになっています。ましてペットは体が小さいため、よけいに発がん原因から受ける影響が大きく、汚染された飲料水、加工食品、大気汚染、あらゆる化学物質そして人間と同じ環境で暮らすことによるストレスなどによって生活習慣病を発症しやすくなったともいわれています。

《日本のペットフードには法的規制がありません》

人間が食べる食品は「厚生労働省」が、ウシやブタなどの家畜用の食料は「農林水産省」が管轄しています。しかし、驚くことに、ペットフードには法律で定められた安全基準がないのです。“いくら有害な原料や添加物を使用しても、表示する義務がない”のです。ある意味、“野放し状態”、“やりたい放題”の世界なのです。

《大切なパートナーの健康を「本気」で考えましょう》

現代のペットは、自然から離れ人と同じ環境で生活しています。野山で暮らす野生動物のように、カラダが欲するミネラルなどの栄養素を本能的に知り、自然の中から必要な栄養を摂取することができません。ですから、ペットたちには私たち飼い主が日頃から食事に気を配り、不足した栄養を補ってあげることが大切なのです。

私たちが愛するペットは人に比べて寿命が短いのが普通です。だからこそ少しでも長生きしてほしいと心から願います。その長生きは、健康であればこそ価値があります。言葉で症状を訴えられない大切なパートナーが、生活習慣病という魔の手には侵されないよう、飼い主の皆さんが正しい知識を持ち、彼らの健康を「本気」で考えてあげてください。

全ての治療や健康法の根本は胃腸から！

「わたしの経験だけで全てを断定するつもりはありませんが、お腹の調子のいい子は結構乱暴な食生活でも耐えられます。しかし、胃腸がデリケートな子は、さまざまなトラブルを生じるという傾向があるようです。

胃腸を丈夫にする方法として、今まで本院がやってきたことで実際に効果があったことは、発酵食品・酵素食品・乳酸菌(乳酸菌生成物質)などを与えることでした」

より効果的な発酵食品・酵素食品の摂り方

「全ての病気治療の根本である消化器系を活性化して、免疫力を高めて、治療のスイッチを入れるという時には、より効果の高まる摂取の仕方があります」

「須崎動物病院発行 Journal of Pet Academy No09」より抜粋 獣医師・獣医学博士 須崎恭彦

前出 獣医師 渡辺由香先生のお話

一般のペットフードの原料には、人間の食料に使用できない「畜産廃棄物」と呼ばれる病死した、または死にかけていた牛、豚、トリの肉や、異常臓器が利用されています。さらに、基準を超えた農薬が残留した穀物等も「飼料用」として使用されています。

そして、これらの原料には驚くほど多量かつ多種類の化学物質、抗生物質、合成ホルモン、重金属等が含まれており、それらが強い発がん性や催奇型性、免疫かく乱性を有しています。

このような「人間が食べられないものを動物達に食べさせる」という発想を無くさない限り、人間も動物も安全で健康に暮らしていくことはできないでしょう。

必ず、安全なフードを選んでください。選ぶポイントは原材料がオーガニックであること、無添加で人間が安全に食せる基準を満たしていることです。(無添加・自然食を謳うペットフードが増えてきましたが、原材料に人間が食せない飼料を使っているものが多いです。注意してください。)

①肉、卵、乳製品を摂取しないで、発酵食品、酵素食品を摂る

②できるだけ他に何も摂取しないで、発酵食品、酵素食品のみを摂る

もちろん、効果は②>>>①です。

「一日二日食べないくらいですから、そんなことでは死にません。生き物はそんなにヤワではありません。

どうしても不安なら半断食(一日一食)にし、液体の栄養を摂取すればいいのです」

「最も重要なポイントは、飲む分にはどれだけ飲んでも構わないが、できれば『固形物』は何も食べさせない、ということです。犬や猫は、良く味わって噛むという食べ方はせず、ほとんど丸飲み込みしてしまうため消化器系に大きな負担をかけてしまうことになるからです」